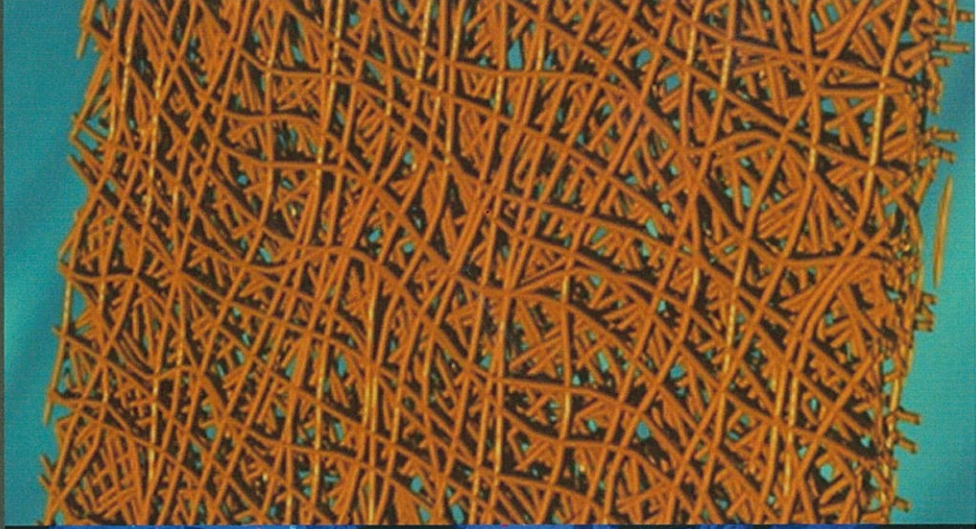
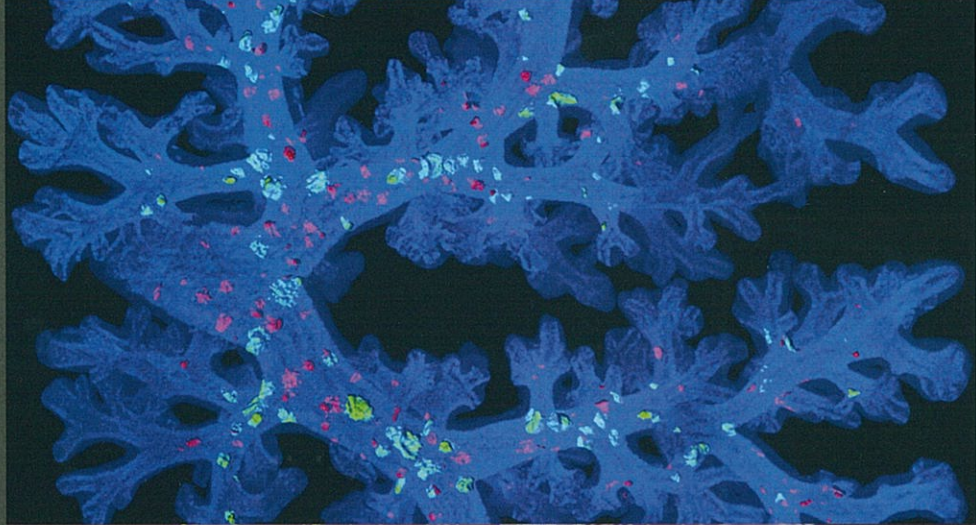
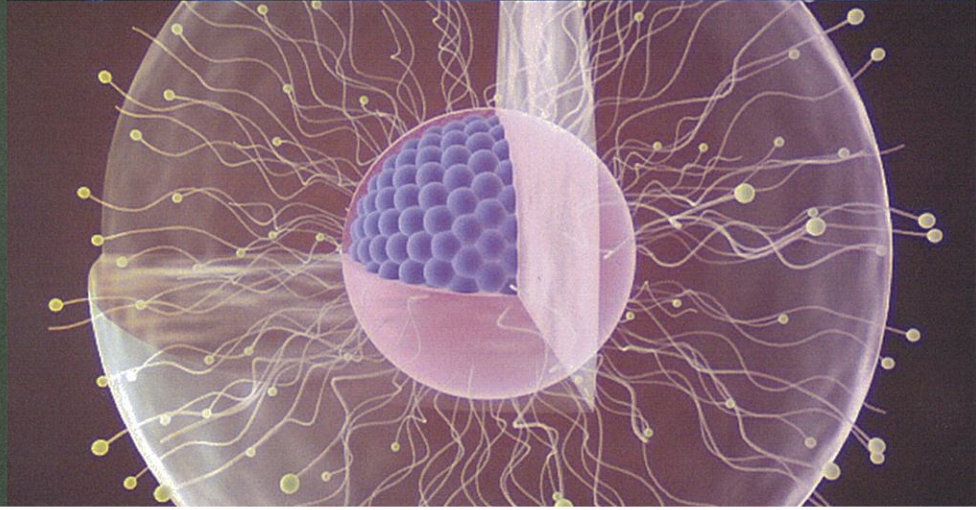


理研シンポジウム

# 理研/iCONM/物材機構 医学ネットワーク

少子高齢化が進みます。現在、医工連携研究の重要性はますます高まっています。本シンポジウムでは、医工連携研究を担う国立研究開発法人理化  
学研究所(理研)、公益財団法人川崎市産業振興財団/医療イノベーションセンター(iCONM)、国立研究開発法人物質・材料研究機構(物  
材機構)と、殿町国際戦略拠点キングスカイスカイフフロントに集積する企業の研究者の新しい研究交流による大きな発展を期待して開催します。



## 2017年12月12日(火) 10:00-18:00

### 川崎市キングスカイスフロント LiSE 川崎生命科学・環境研究センター 大会議室

(神奈川県川崎市川崎区殿町 アクセス:<http://kawasaki-lise.jp/access.php>)

主催 特定国立研究開発法人理化学研究所、公益財団法人川崎市産業振興財団、  
特定国立研究開発法人物質・材料研究機構

参加申込: 下記連絡先までメールにてお申込みください。参加費は無料です。定員150名  
\*施設見学は事前申込制となります(申し込みのみ12月8日(金))。

参加希望者はシンポジウム申込時にあわせてご連絡ください。

連絡先:理化学研究所 シンポジウム事務局

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1 研究交流棟

TEL: 048-467-4979(直通)

Email: [iconm-2017.12.12@ml.riken.jp](mailto:iconm-2017.12.12@ml.riken.jp)

URL: [http://www.riken.jp/pr/events/symposia/20171212\\_2/](http://www.riken.jp/pr/events/symposia/20171212_2/)

10:00 開会の挨拶 片岡一則(iCONM)

iCONM セッション 喜納宏昭(iCONM)

10:05 安楽義孝(iCONM, 東大) 「血液脳関門を効率的に「越える」ナノマシンの  
開発〜脳神経系疾患の革新的治療技術の開発〜」

10:30 内田智士(iCONM, 東大) 「高分子ミセルを用いたメッセンジャー RNA  
デリバリー」

10:55 持田祐希(iCONM) 「難治がんの防御機構を突破する高分子ミセル型薬  
物送達キャリアアの開発」

11:20 竹原宏明(iCONM, 東大) 「半導体技術を応用した埋め込み型バイオデバ  
イス〜ラポオンプレイン・インプラント半導体センサ〜」

11:45 伊島

理研 セッション 前田瑞夫(理研)

12:45 秋元淳(理研) 「温度応答性ナノ粒子を利用した小胞体ストレス誘導法の  
開発」

13:10 藤原裕展(理研 CDB) 「Intelligent glue: 異なる組織をつなぐ細胞外マ  
トリックスの多様性」

13:40 森本充(理研 CDB) 「1細胞解像度で見る呼吸器の発生」

14:10 辻本(理研 CDB) 「世界初の器管再生医療の実現に向けた戦略と展開」

14:40 休憩

物材機構 セッション 阪国平(物材機構)

15:00 在原充宏(物材機構MANA) 「アポトーシス細胞から学ぶ抗炎症治療戦略」

15:30 中西淳(物材機構 MANA) 「上皮成長因子-金ナノ粒子コンジュゲートの  
特異なアポトーシス誘導活性のメカニズム探究」

16:00 中山和信(物材機構 MANA) 「無機・有機ナノワイヤーネットワークによる  
細胞情報処理への挑戦」

16:30 閉会の挨拶 松本洋一郎(理研)

16:45 3機関合同セッション(ポスター形式) @ ナノ医療イノベーションセンター  
(iCONM)4 階

17:30 施設見学\*

【個人情報に関する取扱いについて】ご記入いただいた個人情報は、参加者の集計および主催者からの連絡に利用させていただきます。

このシンポジウムは、理研シンポジウムの一環で行われています。